

平成29年度 第3回 介護・医療連携推進会議 記録

- 事業所情報

法人名	清和園 久世ホーム
事業所	久世訪問介護事業所

- 開催日時・場所

日時	平成29年12月22日(金) 14:30~15:00
場所	久世ホーム 1F 仏間

- 参加者(順不同)

NO	所属(役職)	氏名
1	岡林医院(下京西武医師会理事、副会長)	岡林様
2	久世訪問看護事業所 看護師	上田様
3	京都市久世地域包括支援センター 社会福祉士	千木様
4	京都市久世地域包括支援センター 看護師	西山様
5		
6		
7		
8		
9	久世訪問介護事業所(管理者) 久世ホーム副施設長	中村 真悟
10	久世訪問介護事業所(計画作成責任者)	戎谷 高士

- 議事

NO	議事内容
1	サービス利用状況、苦情、事故報告について
2	事例報告について
3	平成30年介護保険改定について

● 記録

議事 1	サービス利用状況に、苦情、事故報告について
	<別紙配布資料にて報告>
戎谷	<p><苦情、事故報告について報告></p> <p>苦情は今期間内での相談はありませんでした。ただ前回同様服薬に関するヒヤリハットと事故報告が数件上がっている状況です。また物品の破損の事故も1件ありました。</p>
中村 副施設長	<p>服薬に関する事故が多い状況が続いている。服薬の事故の後の訪問看護→主治医への報告を行い適切な対応を行っている。事故が起こる事は仕方が無いことではあるが、今後はどのように対策をすることで事故を減らす事、予防していく事が出来るかを検討していく事が重要になってきます。岡林先生、在宅における服薬の事故ではどのようなことに気をつけて行くことが重要ですか？</p>
岡林様	<p>そうですね。対応策となるかは分からないですが、飲み間違えや重複を防ぐために私は十分な管理が出来ない患者さんには1日1回の服用で済むような処方をしたり不必要な処方出来る限りしないようにしています。また糖尿病の患者さんには出来るだけ低血糖を引き起こす薬は減らしています。服薬の管理が出来ない独居の高齢者の方が増えてきているのでこの様なサービスがある事は主治医としても非常にありがたいです。患者さんやご家族が対応できない部分の手助けをして頂き介護面でのサポート受けていただき健康に過ごして頂けるのが一番です。</p>
戎谷	<p>我々も定期巡回のサービスを行う側として、主治医の先生が配慮して下さっている事も理解し、少しでもご利用者の健康のサポートが出来る様に手順書の見直しや事故対策を行う事で服薬の事故を減らしていけるようにしていきます。</p> <p>今期の登録件数についてですが利用状況は別紙の通りです。登録件数については入院者が8月4名、9月4名、10月2名、11月4名となっており、登録件数自体は横ばいの状況となっています。ただ定期巡回を選ばれるご利用者は癌末期の方も多くご利用期間が1ヶ月もない方もおられるので新規、廃止ケースについては増えている状況です。</p>
議事 2	事例報告について
	<別紙配布資料にて報告>
戎谷	<p>議題書の事例報告を行う。</p> <p>元々は訪問介護を利用されていたご利用者の方でご本人の性格もあり、ヘルパーとの関わりは“食事を作ってくれる人”くらいの認識の方でした。定期巡回のサービスをご利用される事で日々の訪問で関わりが増えご本人が管理できていない部分が見えてくることによりヘルパー会議で毎回検討事項として挙がってくるご利用者でした。定期的に尿路感染症になられていましたが、定期巡回に切り替わって適切な排泄介助が行えるようになってからは尿路感染症にはなられませんでした。</p>
中村 副施設長	<p>拒否の強いご利用者の方も定期巡回サービスでヘルパーの訪問頻度が増える事で関係性が築いて行けるサービスなんですね。</p>
千木様 西山様	<p>柔軟な対応や複数回の訪問でご利用者との距離を縮めていく事が出来るので、ご本人もご家族も安心できるんですね。</p>

戎谷	事例報告でも記載させて頂いている通り、契約は終了となりましたが、ご家族からも「本人の好きな物の提供や住環境の整備等本当に良くしてくださいました。」とのお言葉を頂け、ご本人も最後まで自宅で過ごせたことに感謝して頂けたので、今後もご利用者が満足して頂けるサービス提供を行えるようにしていきたいと思えます。
議事 3	平成 30 年介護保険改定について
戎谷	まだ未確定の状況ではありますが 3 年ごとの介護保険の大幅な改定が予定されており、定期巡回随時対応型訪問介護の中では 3 ヶ月に 1 回行っている介護・医療連携推進会議の開催に関して緩和され 6 ヶ月に 1 回の開催に変更になると言われています。またその他にも人員の配置基準においても緩和されるとされています。
中村 副施設長	補足ですが定期巡回随時対応型訪問介護を提供するに当たり、現在施設での提供を行っている事業所においても地域提供をしていく事を盛り込んだ計画になっております。詳細は次回の介護・医療連携推進会議では時期的にも決定された物が出ていると思えますのでその際にはより明確な物としてご報告できるかと思えます。

以上

作成者	戎谷 高士
-----	-------